

伊達西小・光陵中の授業参観と教育活動の報告をもとに協議

11月2日(木)に光陵中学校校長室において、伊達西小委員3名、光陵中委員5名、オブザーバーとしてスクールソーシャルワーカー1名、事務局2名参加の下、今年度2回目の学校運営協議会合同委員会を開催しました。光陵中学校運営協議会本多会長の挨拶に始まり、授業参観を通してのご感想やご意見を交流した後、小6・中3児童生徒を対象に実施した全国学力学習状況調査の結果と考察及び方策、学校評価やいじめの実態、学校の教育活動等について両校教頭から報告がありました。主な感想・意見は、次の通りです。

1. 授業の様子について

- 家庭科や図工の授業で、国語や算数と違い、個性豊かな作品作りの様子が見られた。
- 手書き入力からの変換など、子どもたちは慣れた様子でタブレットを使用している。
- 校区内小中学校の児童生徒に共通して、挨拶がとても良いと感じた。
- 中学3年生の集会に臨む姿に、校区9年間の学びのゴールを感じた。
- プレゼンテーション力は社会に出てからも必要な力、是非身に付けてほしい。



2. 各校の報告を受けて

- 校区内の子どもたちの数値は平均と比較して下回ったりしているようだが、数値ばかりに目をとられると生徒の本質を見誤ることもあるので、よい面を伸ばしてほしい。
- 子どもが主体となる授業で学習意欲を高めていただきたい。
- 競争がないということで、のびのびと学習に参加できているという見方もできる。
- 家庭学習は今後も大きな課題である。
- いじめの問題には、スクールカウンセラーを活用したり、組織で動くことが大切である。

3. その他

- 第1回学校運営協議会、役員会で協議してきた通学路の安全に向けた防犯灯の設置について、伊達市登下校安全対策推進会議で、優先個所として対応することが確認されたと小田委員から報告がありました。設置個所は、グラウンド横、青年の家付近の1~2か所で、警察署前の街路樹の剪定も行うとのことでした。後日11月7日(火)自治会役員会にて、小田委員と光陵中教頭が説明し、防犯灯の電気代は自治会が負担することと設置時には防犯部長が立ち会うことが確認されました。

※次回の学校運営協議会は、3月上旬に開催する予定です。

「今年度の学校評価結果について」と「次年度の学校経営方針の方向性について」協議する予定です。